

市長記者会見記録

日時：2021年5月24日（月）14時00分～14時27分

場所：第3庁舎18階 講堂

議題：令和3年第2回川崎市議会定例会議案等について（総務企画局、財政局）

多摩区役所生田出張所新庁舎がオープンします（市民文化局、多摩区役所）

市政一般

<内容>

《令和3年第2回川崎市議会定例会議案等について》

【司会】 それでは、ただいまから市長記者会見を始めます。本日の議題は、「令和3年第2回川崎市議会定例会議案等について」と、話題提供といたしまして、「多摩区役所生田出張所新庁舎がオープンします」となっております。

初めに、議題について福田市長から御説明いたします。市長、よろしく願いいたします。

【市長】 よろしく願いいたします。令和3年第2回市議会定例会の準備が整いまして、5月31日月曜日招集ということで、本日告示をいたしました。今定例会に提出を予定しております議案は、条例22件、事件7件、補正予算3件、報告16件でございます。

今議会の主な議案といたしましては、初めに、議案第101号は川崎市都市公園条例の一部を改正する条例の制定についてでございます。本年3月に策定いたしましたパークマネジメント推進方針に基づく取組の一つであります包括型管理運営手法を導入し、近隣地域にある同種の施設を同一管理者が包括的に管理することによりまして、維持管理水準やサービスの向上を図るため、現行の大師公園の指定管理業務の範囲に、近隣地域にある公園の野球場の管理を含めることを予定しております。併せて、これらの公園施設等について利用料金制を導入すること等のため改正を行うものでございます。

次に、議案第104号は、川崎市新本庁舎復元棟新築工事請負契約の締結についてでございます。川崎市役所の旧本庁舎は、昭和13年2月に竣工し、戦前、戦中、戦後を通じて本庁舎としての役割を果たしてきた建物であり、歴史的・文化的にも一定の価値を有するものとされていたため、本庁舎等建替基本計画において、一部を復元棟として、創建当時の姿で復元することとしておりました。こうしたことから、この

たび、復元棟の新築工事について一般競争入札を執行したところでございますが、市内事業者の株式会社小川組が落札しましたので、同社と工事請負契約を締結するもの
でございます。契約金額は14億3,000万円、完成期限は超高層棟新築工事と同じ
く、令和5年3月31日としております。

なお、復元棟の電気設備、空気調和設備、衛生設備等につきましても、今後、市内
業者に工事を別途発注し、令和3年度内に着工することを予定しております。

次に、議案第111号から議案第113号は補正予算でございます。このうち、一
般会計の補正予算の内容といたしましては、新型コロナウイルスワクチンの高齢者向
け接種体制の強化を行うものや、町内会・自治会活動の維持・拡大に向けた支援を行
うものなど、その他減額となるものも含めまして、総額で5億円余を増額するもの
でございます。

なお、議案第111号のその1補正につきましては、国の施策に基づき、低所得の
子育て世帯への支援の取組を急ぎ進める必要があることから、他の議案と分割し、先
行議決をお願いするものでございます。

また、追加議案といたしまして、川崎市監査委員の選任及び人権擁護委員の候補者
の推薦についての人事案件を2件提出する予定でございます。

いずれの議案につきましても、川崎市政にとって重要なものばかりであります。議
会の皆様とは真摯に議論させていただき、両輪となって市政を運営してまいりたいと
思っております。

私からは以上です。

【司会】 それでは、ただいま御説明いたしました議題についての質疑応答に入らせ
ていただきます。

なお、市政一般に関する質疑につきましては、本件の質疑が終了後、話題提供につ
いて御説明をさせていただいた後に、改めてお受けをいたします。

それでは、進行につきましては、幹事社様、よろしく願いをいたします。

【幹事社（神奈川）】 幹事社の神奈川新聞です。よろしく申し上げます。特にうちか
らはありませんので。

【幹事社（tvk）】 幹事社のテレビ神奈川です。補正予算についてなんですが、今
御紹介があったもののほかで、感染症対策、東京オリンピック・パラリンピックの推
進事業費というところがあると思うんですが、ここ数日の中でも、事前キャンプの取
りやめであったりとか新たな動きが出てきていると思います。川崎市としての英国代
表チームの受入れ、調整具合の進捗状況を教えてください。

【市長】 事前キャンプについては、頻繁に英国のオリンピック委員会、パラリンピック委員会の皆さんとは連絡を取り合っておりまして、先日、千葉の浦安で英国のウィルチェアバスケットのチームが事前キャンプを中止するというので、どうなるのかなと思っておりましたけれども、BOA、BPA共に、川崎市とはこれまでどおり、ぜひ事前キャンプに向けて準備を進めているのでよろしくということがありまして、私どもも特に変更することなく、着々と準備を進めているところでございます。

【幹事社（tvk）】 ありがとうございます。

幹事社から以上です。各社、どうぞ。

【司会】 よろしいでしょうか。

《多摩区役所生田出張所新庁舎がオープンします》

【司会】 それでは、次に、話題提供といたしまして、「多摩区役所生田出張所新庁舎がオープンします」について、福田市長から御説明いたします。市長、よろしくお願いいたします。

【市長】 多摩区役所生田出張所新庁舎のオープンについてでございます。

生田出張所は、平成30年3月に策定いたしました多摩区役所生田出張所建替基本計画に基づきまして、共に支え合う地域づくりを推進する身近な地域のコミュニティー拠点となるよう建て替え事業を進めてまいりました。

建物の概要といたしましては、構造は鉄骨造の3階建てで、延べ床面積は1,088平米と、旧庁舎と比較いたしますと3分の2程度にコンパクト化されたものの、これまでにない身近な地域のコミュニティー拠点としての新たな機能として、どなたでも気軽に立ち寄り交流できる多目的スペース、屋外に面した大開口の窓を開けることにより、多目的スペースと一体的に利用できる屋上部のコミュニティー広場などを整備いたしました。ほかにも、日常的に利用可能な屋外階段が併設されていまして、コミュニティー広場がブリッジにより出張所の北側にある開放された生田小学校の敷地の一部、地域では「下校庭（したこうてい）」と呼んでいますが、そちらとつながることによって、地域の新たな動線が生まれます。また、消防団器具置場を移設し、合築いたしました。

このような機能を持つ出張所がこのたび完成し、6月28日月曜日からは新庁舎での業務を開始いたします。それに先立ちまして、6月19日土曜日には完成記念式典を、供用開始後の7月18日日曜日には、地域の方々に新しい出張所を知っていただくために、地域で活動する方々との協働によりましてオープニングイベントを実施することとしております。

供用開始後は、活用の方法、利用ルールなどについて地域の方々の声を聞きながら、出張所が地域の新たな活動の場、つながりづくりの場となるように工夫していくことによりまして、これからの庁舎の在り方のモデルとなるよう取組を進めていきたいと考えております。

以上でございます。

《市政一般》

【司会】 それでは、ただいま御説明いたしました話題提供の件と市政一般に関する質疑を併せてお受けいたします。

進行につきましては、改めまして幹事社様、よろしくお願いたします。

《多摩区役所生田出張所新庁舎がオープンします》

【幹事社（神奈川）】 神奈川新聞社ですけれども、この生田出張所について、3分の2ぐらいコンパクト化するということですが、利用できる機会というか、スペースとしては今までとは変わらないという認識でよろしいんですかね、団体数ですとか。

【市長】 そうですね。かつ、将来的にはもっと多くの方たちに利用していただきたいなと思っています。今、スモールスタートで始めて、利用の仕方は、今後皆様と、管理の仕方というか、そういうものを御相談しながら、順次拡大していきたいなと思っております。

【幹事社（神奈川）】 市内で、こうした機能があるような出張所ってほかにもあるんでしょうか。

【市長】 どうですかね。

【市民文化局】 市民文化局からお答えします。市内には、幸区に日吉出張所、高津区の橘出張所、宮前区に向丘出張所、そして生田出張所と4つの出張所がございますが、今回、支所、出張所を新たな地域の拠点としていくという方針に基づきまして、今回ちょうど建て替えの機会を迎えました生田出張所でこういった取組をしておりますので、今後、運営の様子なども考えながら、地域の方と協議しながら、支所は建て替えが決定しておりますので、もちろんそちらもそうですが、出張所にも、既存を使いながらも、そういった改修もしながら、地域の拠点としていくように取組を進めてまいりたいと考えております。

以上でございます。

《多摩区登戸新町刺傷事件関連について》

【幹事社（神奈川）】 あと、市政一般なんですけれども、28日に登戸の子供たちが襲われた事件から2年を迎えるんですが、いろいろ子供の見守りなどの課題が明らか

になった事件だったと思うんですけども、改めて節目、2年目ということで、市長としての御所感をお聞かせください。

【市長】 あの事件から、引き続き地域のスクールガードリーダーをはじめ、地域の皆さんが非常にきめ細やかに、学校などとも連携を取りながら見守り活動をそれぞれの地域でやっただけに改めて感謝を申し上げたいと思います。ここでも前にも申し上げたかもしれませんが、一概にひきこもりがということでは今回の、どう関係しているのかは定かではありませんけれども、こういった方々、市民の皆さんの御相談だとか悩みだとかのニーズは引き続き高いと思っただけに、そういった意味では、今年度から、ひきこもりの相談支援センターができましたので、そこで総合的な支援の仕方というか、相談だとかを受けていきたいなと思っただけに、そういうのが、まず立ち上がったということですので、積極的にそういったところも支援していきたいと思っただけに。

【幹事社（神奈川）】 ありがとうございます。

《災害対策基本法の改正について》

【幹事社（tvk）】 テレビ神奈川です。今月20日に災害対策基本法は改正法が施行されまして、避難指示に一本化されたということなんですが、間もなく出水期を迎えるに当たって、自治体からの情報発信の方法、過去の台風の経験も踏まえて、今どのように感じていらっしゃるか、お願いします。

【市長】 まず、皆さんの意識、風水害だとか内水の氾濫だとかがどういう怖さかということ、一昨年の19号などの経験から非常に関心が高まったと思っただけに、先日も内水のハザードマップを作成いたしまして、各区役所や出張所などでも配布させていただいて、関係するところには簡易的なものをこれから配布する予定であります。そういった形で啓発にはしっかり努めていきたいと思っただけに、今回基準が変わったということ、改めて皆さんに知っていただきたいのは、避難というと避難所というイメージを持っている方、たくさんいらっしゃると思っただけに、事象によって自らの避難する場所がどこなのかということについて改めてよく事前に考えていただくことを、ぜひお願いしたいと思っただけに。

マイトimelineの取組というの、これまでも啓発に努めてきましたが、ぜひそれぞれの御家庭で、自分の家はどういう避難の形態があるのかを考えていただきたいということ、私たちもさらに積極的に周知啓発に取り組んでいきたいと思っただけに。

【幹事社（tvk）】 自治体側からの情報発信の仕方が、今までは避難指示と避難勧告というものが混在するような形だった、これが一本化することによって、届け方は

どのように変わっていくかというのはいかがですか。

【市長】 受け止め方、それぞれだと思いますけれども、分かりやすくなったとは思っています。高齢者避難という形で、私はどこなんだろうという部類が、とにかく避難しなくちゃいけないんだなとかということが少し分かりやすくなったのかなど。避難指示、避難勧告ってどっちがどうなんだっけということが今まで非常に迷われていた方は多いと思いますので。

【幹事社（tvk）】 ありがとうございます。

幹事社からは以上です。各社、どうぞ。

《ヘイトスピーチ解消法関連について》

【東京】 東京新聞です。今日、5月24日で国のヘイトスピーチの解消法の成立からちょうど5年を迎えます。川崎の事実が立法事実ともなったという経緯もあるということで、かつてのようなひどい街宣などは行われてきていない状況もあるかと思うんですけども、そういう現状、量とか質とか、条例もこの間御努力されてきたということで、改めてこの5年の評価というか、現状の受け止めをお伺いできますでしょうか。

【市長】 解消法と、それから、私どもの条例ができたことによって、今御指摘のとおり、明らかに条例に抵触するようなことは現時点でないということでもありますから、そういった意味では一定の成果はあったと思っています。しかし、条例に引っかけられないという形で、あまり予断を持って言うてはいけませんけれども、しかし、差別的な意識とかが全てなくなったわけでは決してありませんので、そういった意味で粘り強く、引き続き条例の趣旨と、差別のない社会をつくるための教育を含めて、取組はしっかりやっていきたいと思っています。

【東京】 分かりました。ありがとうございます。

【司会】 いかがでございましょうか。

《新型コロナウイルスワクチンについて》

【幹事社（tvk）】 すいません、1点追加で。テレビ神奈川です。ワクチンの大規模接種の件なんですけど、先日もNECと合意をして動き出しています。その後、ほかにもどこかで手を挙げていただいているところとか動きがあるとか、そういったお話は今ありそうですか。

【市長】 私どもとしてまず、大規模接種会場として設置するのは市内1か所という形にしておりますので、これからも会場探しを、大規模という形で想定しているわけではありませんので、特にそういった動きはありません。

【幹事社（t v k）】 分かりました。

【市長】 一方で、一般的な集団接種については、今後、これまでも言っていたとおり、もう少し多様な形があるのではないかと考えていまして、年齢が下がることによって、例えば学校でやるとか職場での接種というのが、そういった柔軟な取組は今後とも考えられるし、そういったことは常に考えていきたいと思っています。

【幹事社（t v k）】 ありがとうございます。

【朝日】 朝日新聞です。今の関連というか、大規模接種の話ですが、当初、週6日だったのが週7日の稼働に変わったと思うんですけれども、これはどういうお考えで、もしくは、どういうことがあって、こういうことができたのかということをお教えいただけますでしょうか。

【市長】 まず、接種できる、あるいは接種に関係する方々の一定のめどが立ったということが、その理由の大きな一つです。

【朝日】 スタッフ、打ち手の話ということですか。

【市長】 そうですね。医師、看護師、それから、そこに受付だとかを含む関連業務の方たちの人手的な手配です。

【司会】 ほか、いかがでございましょうか。

【幹事社（神奈川）】 すいません、追加なんですけれども、先ほど、やはり多様な職場とか学校での接種の取組なんかについても考えていきたいということですが、もし分かればですけど、そういう検討に具体的に入られているところがあるのかということと、あと、やるとしたら、いつぐらいからそういうのが動き出すのかなということを教えていただけますか。

【市長】 まだ具体的なことはありません。というのは、高齢者接種以降のワクチンの供給スケジュールがどのような形になってくるのかがまだ見えてこないというのがありますし、どの時期にどのぐらいのものが求められているのか、あるいは緩和されるのかということも出てくるかと思しますので、それに合わせてしっかり考えていきたいと思っています。

【幹事社（神奈川）】 分かりました。ありがとうございます。

【東京】 ワクチン接種の関係でもう一つ。現状、65歳以上の方の接種スケジュールの見通しが大体見えてきた状況だと思うんですけれども、たしか、次の優先対象として、60から64歳の方とか、あと介護の関係の方とか基礎疾患をお持ちの方とかということで、順次枠が広がっていくことにはなっていたと思うんですけれど、そうした高齢者以外の方たちへのスケジュール感はこれからどのように考えていらっしゃる

ますか。

【市長】 まず、高齢者施設の従業員の方々に対しては、現時点でも集団接種会場で2か所、枠を設けて、順次進めているところでございます。それ以降の年齢ですとか基礎疾患というのをどう対応していくのかというのは現在も検討しているところですが、基礎疾患情報、私たちが持っているということではありませんので、どういふ方法で混乱なくやっていくかは現時点で検討中ということでございます。今、まだしっかりしたものが決まっていないということです。

【東京】 イメージとしては、やっぱり7月いっぱいぐらいまでに多くの高齢者の方が受けられるとして、それ以降どうしていくのかというような時間軸になりますでしょうか。

【市長】 ええ。要は、なるべく遅延がないように、これが終わってから考えるということよりも、これまでもそうでしたけれども、なるべく先を見通して、早めに皆さんにお知らせできるように努力はしていきたいと思えます。

【朝日】 すいません、追加でもう1点。接種関連で、ワクチンロスの取組というのを事前に示されていたかと思うんですが、集団接種会場、個別接種会場、現在のところ、うまくいっているのでしょうか。

【市長】 私の聞いている範囲では、そこに何かトラブルが起こっているという話は聞いておりません。

【朝日】 実際にキャンセルの人の代わりに打っている人は、今どのぐらいいて、ロスは全くないということでしょうか。

【市長】 事務方からでもよろしいですか。

【朝日】 はい。

【健康福祉局】 ワクチン調整室です。お願いいたします。ワクチンロスの取組でございますけれども、集団接種会場で、もし何らかのキャンセル、あるいは予診のみで終わった方等が出た場合のロス対応につきましては、1会場当たり2名前後が日々出ている部分でございますけれども、プランに位置づけたとおりで、今現在、対応をさせていただいております。個別接種につきましては、例えば、市としてのキャンセル待ちみたいな取組がまだスタートしているわけではないですが、個々の医療機関の皆様の方で、例えば、近隣の医療従事者の方を呼んでいただいたり、あるいは、クーポンを持っている御高齢の方でまだ予約が入っていない方などに声をかけていただいたりということで御対応していただいているものと考えております。

以上でございます。

【朝日】 これは実際、個別接種のほうもそういう例は既にあるということでしょうか。

【健康福祉局】 ありがとうございます。現状、個別接種のほうも、接種箇所数が増えてくると、どこもがびったり予約のとおりというのはなかなか難しいようなところがございますので、接種履歴を管理するという観点も踏まえつつ現在も柔軟に御対応いただいているというような状況でございます。

以上でございます。

【朝日】 すみません、もう1点。実際、もう既にそういう例はあるのでしょうか。

【健康福祉局】 ありがとうございます。現状、こちらで個別にワクチンロスの取組をしたときに、市に御報告いただく必要があるというものではございませんけれども、一般に医療機関の方とのやり取りの中では、こんな形で医療従事者の方を呼んだよなんていうお話は出ておりますので、現状も対応いただいているような状況でございます。

【朝日】 ありがとうございます。よく分かりました。

【市長】 どうぞ。

【読売】 読売新聞です。もしかしたら、今までの会見とかでもうお話しされているかもしれないんですけど、市長、まだお若いんですけど、市長御自身の接種は……。

【市長】 しておりません。

【読売】 今後はどうされる……。

【市長】 今後は、いわゆる一般的なスケジュールにのっとってという形になります。

【読売】 特にロスが出たところではお考えでない……。

【市長】 いえ、その予定は全然ありません。

【幹事社(神奈川)】 ロスが出たときとかに打っている首長さんの例があると思うんですけど、なぜ打たないのでしょうか。

【市長】 いや、打たないというよりも、最初から国の方針というのが、今で言うと、コロナというよりも、新型インフルエンザのときから、どういう順番でやるかが既に決まっていて、その中に、いわゆる首長だとか行政職員だとかというのは、順番としてはそういう形にはなっていないわけですね。ですから、今のルールに従って取り組むということでありまして。危機管理の観点からというのでは、いろいろ議論あるかと思いますが、それはしっかりルールづくりをやった上で行うべきだと私は思います。

【幹事社(神奈川)】 ありがとうございます。

【司会】 いかがでございましょうか。よろしいでしょうか。

それでは、以上をもちまして、市長会見、終了いたします。ありがとうございました。

(以上)

-
- ・この記録は、重複した言葉づかい、明らかな言い直しや質問項目などを整理した上で掲載しています。

(お問合せ) 川崎市役所総務企画局シティプロモーション推進室報道担当

電話番号：044(200)0312